

4 分析結果の概要（詳細分析は、6「問題別の考察及び指導上の留意点」に掲載）

ここでは、平成27年度学力調査結果に見られる新入学生徒の学力の傾向を項目ごとにまとめた。

(1) 語彙力（【1】発音問題 正答率59.8% 【2】語彙問題 正答率49.6%）

ア [u:] と [u], [θ] と [ð] などの紛らわしい発音の区別ができない。また、発話や応答において、強勢を置いて伝えるべき情報を意識できていない。

イ raise や spend などの指示や質問の際によく使われる語であっても、それらの語を用いて適切に表現することができない。

(2) 文法の知識（【3】文法・語法問題 正答率63.9% 【4】文法・表現問題 正答率71.4%）

ア 文の前後関係に応じて接続詞を適切に用いることができない。

イ 対話の内容に応じて適切に表現することの苦手な生徒が見られる。

(3) 口語表現（【5】口語表現問題 正答率83.9%）

基本的な会話表現はよく定着しているが、誘いを受けたり断ったりする場面において、適切な表現で応じられないことがある。

(4) 表現力（【6】整序・作文問題 正答率60.9%）

疑問詞+to 不定詞や It is ~ for 人 to 不定詞の構文を用いた表現はよく定着しているが、間接疑問を用いた表現に誤りが多い。

(5) 読解力（【7】長文読解問題 正答率60.5%）

情報を断片的に捉えてしまい、場面の状況や登場人物の行動などを整理しながら、全体の話の展開を正確に捉えられない。

(6) 聞き取りの力 (【8】聞き取り問題 正答率 75.5%)

聞き取った内容から必要な情報を整理して正確に理解することができない。